

(一社) 九州観光推進機構 活動レポート

— 2018年4月号 —

3月の主なトピックス

当機構が日本版 DMO (広域連携 DMO) として認可	1 P
第2回九州教育旅行ふっこうセミナー	2 P
九州オルレ 新コースのオープン (マスコミ・旅行社等招請事業)	3 P
人事往来	5 P

◆ 3月のトピックス

○観光庁より日本版 DMO (広域連携 DMO) として認可いただきました。 (3/30)

当機構は、3月30日に観光庁が認定する「日本版 DMO 法人」として認可されました。「日本版 DMO 法人」とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。3月30日時点、全国で70組織(うち広域連携 DMO は当機構含め7組織)が認可されております。

これに伴い当機構では、九州観光のハブとして、自治体、経済団体に加え、各地域 DMO、民間企業とも積極的に連携しながら、マーケティング機能を強化し、地域の稼ぐ力を引き出すことで消費拡大へ繋げ、「観光を九州の基幹産業へ」を目指していきます。



4月4日に九州運輸局 宇都宮博文観光部長より「日本版 DMO 登録証」を交付いただきました。

○第 2 回九州教育旅行ふっこうセミナー

(3/1~3：福岡、佐賀、熊本、大分)

熊本地震（2016年）で落ち込んだ九州への教育旅行の需要回復を加速させるため、全国の会員旅行会社の教育旅行担当者6社40名を招へいし、九州の新たな教育旅行素材を提案する「第2回九州教育旅行ふっこうセミナー」を開催しました。初日のセミナーでは、神奈川県川崎市の洗足学園中学高等学校の田中教頭先生にご講演頂き、学習指導要領の改訂によりどんな修学旅行が求められているか等について、分かりやすくお話を頂きました。また教育旅行担当者と、県や観光連盟、受入施設等の九州側参加者との相談会を開催し、大変充実した商談を行う事が出来ました。

また、今後の修学旅行の提案に生かして頂けるよう、熊本県の「震災復興プログラム」や大分県の「グローバル探求プログラム」など、旬の教育旅行素材を教育旅行担当者に紹介し、現地での視察や体験も行って頂きました。今後も大都市圏での説明会・相談会等の開催や招へい事業を通じて九州への教育旅行を復興させるため活動してまいります。



○インドネシア旅行博（Japan Travel Fair）出展事業

(3/9~11：ジャカルタ)

旅行博では、11月に実施したFAM（九州南部）で招請した旅行会社と、九州の情報発信及び造成した旅行商品の販促を通して九州への誘客につながるよう取り組みました。

旅行博はジャカルタ南部に位置する巨大ショッピングモールで行われましたが、モール自体の集客力が高く、九州ブースにも予想以上の集客がありました。

九州ブースを訪れた人の50%程度はギブアウェイ目的で、来場者の90%は九州のことを知らないということを認識しました。九州に行くことを決めているお客様が2日間合計で20名ほどいましたが、桜の時期の航空券は入手しづらいため、10~11月に九州に行く予定の人がほとんどでした。そのため、紅葉への関心が最も高く、温泉、食の問い合わせが多くありました。但し、九州に行くことを決めている人も、九州の知識はほとんどなく、航空券が入手しやすかったためと考えられ、まずは安く日本に行ける航空券を入手後、どこに行くかを検討しているように思われます。香港経由での九州来訪が主流のようです。日本語を話すことができる人の数も多く、またモール内に日本料理店も非常に多く見られ、日本への関心の高さを実感しました。



○「九州オルレ」マスコミ・旅行社等招請事業

(3/9~11：福岡、大分)

「九州オルレ」第7次コースである「筑豊・香春コース」(福岡県香春町)と「さいき・大入島コース」(大分県佐伯市)のオープンに伴い、韓国のマスコミ及び旅行社等を招請し、九州オルレ及び周辺地域を中心とした九州観光の情報発信と旅行商品の造成促進に取り組みました。

筑豊・香春コースは季節毎の美しい山々を楽しめるコース、さいき・大入島コースは山と海の景色を堪能できるコースとなっており、招請当日は天気にも恵まれ、参加者から「いいコース」との声が多く寄せられました。

今後も、この2コースを含め全21コースの九州オルレの認知度向上と周辺観光地への集客を図ります。



○酒蔵観光サイト（Kampai at Kyushu）におけるコンテンツ制作のための現地取材

(3/14~16：宮崎、鹿児島)

2017年度ニューツーリズム創出事業の一環として取り組んでいる酒蔵観光サイト（“Kampai” at Kyushu）での情報発信の為、薩摩酒造株式会社、霧島酒造株式会社、雲海酒造株式会社、株式会社都農ワインを訪問し取材を行いました。取材では、酒蔵歴史や酒造りの製作に込める想いをインタビューし、又焼酎やワインなど工場見学をさせて頂きました。今回の取材内容については、2018年度の初旬にもWebサイトやSNS、また外部メディアと連携しながら国内外へ情報発信を行っていく予定です。ラグビーワールドカップ2019も見据え、地方への誘客に繋げていきます。

◆ “Kampai” at Kyushu : <https://www.welcomekyushu.jp/kampai/>



霧島酒造



薩摩酒造

○マスコミタイアップ取材協力について

九州の魅力である酒コンテンツを特集化する企画を株式会社 KADOKAWA 様と一緒に検討し取材協力を行いました。九州7県の地酒（酒蔵観光を含む）を通して各地の魅力を発信していくことを目的に、九州ウォーカー（雑誌、Web版）での特集掲載、九州の酒蔵・ワイナリー・ブルワリーが収録されたムック「九州の酒」も創刊頂きました。又、当機構が運営する酒蔵観光サイト（“Kampai” at Kyushu）と相互連携するなど、情報発信の強化に努めていきます。

（12月～3月）



九州ウォーカー掲載

ムック本(九州の酒)掲載

○第3回運営協議会の開催

（3/16）

本年度第3回目の運営協議会を開催し、24名の委員の皆様にご出席（代理出席含む）いただきました。会議では、2017年度事業計画の変更（案）、2018年度事業計画（案）、2018年度予算（案）を含む審議事項5件、報告事項1件について審議が行われ、原案どおり理事会に提案されることが確認されました。



運営協議会開催後には、石原会長をファシリテーターとして九州のさらなる観光の発展にむけて、地域DMO等の地域単位での活用状況や外国人旅行者への効果的なPRの仕方など活発な意見交換を行いました。

○マレーシア旅行博（MATTA）出展事業

（3/16～18：クアラルンプール）

旅行博では、11月に実施したFAM（九州南部）で招請した旅行会社と、九州の情報発信及び造成した旅行商品の販促を通して九州への誘客につながるよう取り組みました。

招請した旅行会社・メディア社との連携により、ブースに九州への旅行商品パンフレットを置き、具体的に九州の説明をしました。来場者が気軽に立ち寄れる配置だったことや現地では珍しいガラポンゲームが効果的で、ブースへの集客につなげることができました。旅行博期間中と商談会で行った九州のプレゼンテーションには多くの来場者が集まり、九州に対する関心度の高さがうかがえました。



○第4回理事会の開催

本年度第4回目の理事会を開催し、2017年度事業計画の変更（案）、2018年度事業計画（案）、2018年度予算（案）を含む審議事項5件、報告事項1件について審議が行われ、原案どおり承認いただきました。当機構が観光庁日本版DMO登録になることに対する期待、当機構のホームページの多言語化の更なる充実などのご意見をいただきました。



◆九州観光推進機構からのお知らせ

○人事往来

当機構スタッフの人事異動がありましたので、お知らせします。

【転出者】[] 内は派遣元

企画部 部長 井立田剛 [鹿児島県]

国内誘致推進部 次長 山川祐一 [ANAセールス株式会社]

国内誘致推進部 次長 山端利佳 [福岡県]

海外誘致推進部 次長 西岡みゆき [佐賀県]

海外誘致推進部 主任 大石宜蓉 退職

海外誘致推進部 主任 Liam Holton 退職

企画部 主任 池田瑞恵 退職

【転入者】[] 内は派遣元

企画部 部長 鬼木幸雄 [福岡県]

国内誘致推進部 次長 松田康貴 [ANAセールス株式会社]

国内誘致推進部 次長 恒松隼人 [佐賀県]

国内誘致推進部 主査 池本修明 [玉名市]

海外誘致推進部 次長 横山武徳 [鹿児島県]

【機構内異動】[] 内は前所属

広報センター 次長 下村健一郎 [国内誘致推進部]

*新スタッフのお知らせ

公益社団法人日本観光振興協会 事務局長 西英利

九州オルレ認定地域協議会 事務局 川添恵里佳

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載 (4/12)

「九州観光関連の最新統計データ」を掲示しました。ぜひご活用ください。なお、会員向け情報ページを閲覧するには、ID とパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 「家族旅行におすすめ体験メニュー」特集を始めました。

家族で楽しめるアクティビティ・ものづくり・フルーツ狩りなどの体験を季節ごとに紹介しています。

◆家族旅行におすすめ体験メニュー

<https://www.welcomekyushu.jp/feature/2017/family/index.html>



○ 「九州教育旅行ネット」内容充実しました。

九州の旬の学習素材をめぐる「モデルコース」や「学習スポット」を新たに追加し、幅広く情報発信しています。

◆九州教育旅行ネット

<http://kyoiku.welcomekyushu.jp/>



○ 4 月以降の主な事業

- ・平成 30 年度下期九州観光素材説明会・相談会 (2018 年 4 月~5 月)
- ・2018 年度第 1 回九州各県海外誘致実務担当者会議 (2018 年 4 月 26 日)

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 野間、黒田、下村

TEL:092-751-2943 (代表)

092-751-2946 (国内誘致推進部が イヤリン)

092-751-2947 (海外誘致推進部が イヤリン)

092-751-2951 (九州観光広報センターが イヤリン)

FAX:092-751-2944

E-mail : infokkyushu@welcomekyushu.jp

～編集後記 第 15 回

新年度が始まりました。気候も暖かくなり、お出かけ意欲が湧いてくる時期になりました。九州旅ネットでは、特集サイトで家族旅行におすすめメニューの紹介や、記事でお出かけスポットを紹介していますので、ぜひご覧ください。私は、先月から始まった肥前さが幕末維新博覧会に行きたいなあと考えています。(野)